

### CONTENTS

同窓会の活動	1
同窓生の活躍	3
クリップボード	5

## 同窓会の活動

### ☞ 同窓会の活動報告

前号にて同窓生名簿を70周年に向け発行する事を皆さまにご連絡いたしました。常任幹事会では2,000年4月より毎月1回会合を持ち、会員の確認と不明の方の追跡調査の方法や実行に向けての具体的スケジュールを決定して、現在これをもとに作業を進めております。この方法を含め常任幹事会が進めている作業内容をご紹介します。

併せて皆様の協力をお願い申し上げます。

1. 現在“SEASIDE”がお手元に届いている皆様に対して、学園卒業生の素敵な女性 3名、長松さん、庄司さん平木さんのボランティアにより、電話による確認を進めております。年齢の高い1回生の方から順に進めております。すでに連絡が届いた方もいらっしゃると思いますが約1年半の予定で、次の事項を確認させていただいております。

その内容は、

1. 住所（現住所または御実家）、郵便番号
2. 氏名
3. 電話番号
4. 在学中のクラブなどの情報
5. 最終学歴
6. 御職業
7. クラス会などの幹事さんの名前や情報
8. 新名簿購入の意志
9. 名簿に個人情報記載してもよいかの確認です。

2. 不明の方々に対する追跡調査に対して、常任幹事を責任者とする6グループに分けて不明の方を各年代に大別し、クラス会や学年同窓会などの幹事さんたちから情報を入手し、1クラスずつ調査を行う事から始めております。6グループの各責任者は次の通りです。「この年代にあたる会員の方々に、最近クラス会や学年同窓会、あるいは有志による集まりなど、名簿を作られている方がいらしたら学園事務局の北村さんまでお送り下さい」

#### 【不明者追跡グループ】

常任幹事	小学校	中学校	高校
1 G	田端 恭蔵 昭和9年～24卒	金井 之和 昭和24～28年卒	富岡 定靖 昭和27～31年卒
2 G	長妻 啓之 昭和25～30年卒	奥山 寿一 昭和29～40年卒	鈴木 吉英 昭和32～38年卒
3 G	二見 照夫	平沢 和久	杉崎 一雄

	昭和31～35年卒	昭和36～40年卒	昭和32～38年卒
4 G	高橋 和人	堀井 義一	
	昭和36～38年卒	昭和41～43年卒	昭和44～46年卒
5 G	倉沢 条太	増田 要一	
	昭和39～48年卒	昭和40～53年卒	昭和47～56年卒
6 G	前田 忠厚	山口 佳久	
	昭和49～53年卒	昭和54～58年卒	昭和57～61年卒

前述の様な方法で今回“SEA SIDE Vol.8”は、2,000年10月現在の調査の結果までを加味したうえで訂正され、発行されたものです。今回の調査で約400名の方が訂正されました。

2,001年からは本格調査を開始し、多くの訂正を行い、新名簿完成へと努力してまいります。重ねて皆様の御協力をお願いいたします。

### 3. 名簿調査報告とお願い

前述のように同窓会の基本的な仕事としてわれわれ全員で行ってきた名簿調査を2,000年4月より具体的にグループに分かれて始めております。

これは2,000年4月から不明者約4,500名の追跡、わかっている方々（SEASIDEが届いている方々）の確認を行い、2,001年末に第1次結果を出し、2,002年より最終調査に入ります。2003年頭から新名簿作りに入り、2003年秋から冬にかけて刊行の予定です。

2,000年4月	2,002年4月	2,003年4月	2,003年10月
第一次調査	本格調査	名簿原稿作り	刊行

という線表です。

調査は始めて半年、まだまだ進み具合はまちまちですが、常任幹事や協力していただいている方々には大変がんばってもらっています。

小学校では34回生（S42年卒）～57回生（H2年卒）  
 中学校では25回生（S48年卒）～42回生（H2年卒）  
 高校では24回生（S50年卒）～37回生（S63年卒）  
 が特に遅れております。この年代にあたる方々で学年やクラス有志の名簿をお持ちの方は学園同窓会事務局までお送り下さるか、この年代の幹事さんをご存知の方ご連絡お願いいたします。

湘南学園同窓会事務局  
 藤沢市鶴沼松が岡4ノ1ノ32  
 TEL.0466-23-6611  
 FAX 0466-29-3669までよろしくお願いいたします。

〈名簿係りからのお願い〉

〔各クラブのOBの方へ〕

同学年のクラブで活動された皆様にお願ひがあります。同窓会名簿の追跡調査で各クラブOBの方々からも情報をいただければと考えております。

現在テニス部、バスケット部、野球部、ラグビー部、バレー部などにお願ひをして、各年代のOBの方に名簿作成の協力を要請していく予定です。

この調査を基に2,001年4月から各クラブOB会の名簿からも不明者の追跡を進める予定です。

すでに廃部になってしまったクラブもあります。また新たに発足したクラブもあると思います。OBでクラブの幹事の方や、クラブの学年名簿あるいは全体のOB会名簿をお持ちの方、お手数ですがコピーを学園事務局までお送り下さい。宜しくお願いいたします。

〔退職された先生方へ〕

先生方には、日々平穏な生活を楽しまれていらっしゃるごととお喜び申し上げます。

私たち名簿係をはじめ、幹事全員で不明者の追跡を進めております。しかしながら、仕事を持ちながらのボランティア活動のため限界もあります。できる限り多くの方々のご協力をいただき調査を進めていきたいと考えております。大変恐縮ですが先生方にも大きくお力ぞえをお願いする次第です。過去6年間で同窓会やクラス会に出席され、その際の名簿、あるいは主催者の情報をお持ちであれば、ぜひ学園同窓会事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます。

#### 4. 学園祭写真展

20世紀最後の学園祭が去る10月7日、8日に行われました。同窓会でも毎年写真展という形で学園祭に参加しています。学園の歴史をつづったパネルや皆様からご寄贈いただいた昔の“B地区”といわれる頃の学校や江の島の風景、歴代園長のスナップや校章、今はなくなってちょっぴり寂しい記録会など、いろいろな写真を毎年展示しております。

また来場いただいた方々に、少しでもお休みいただける喫茶コーナーもあり、OBの方や外部の方とのお話が出来るようになっていきます。場所は中学4階のLL教室です。ぜひ来年も皆様の御来場をお待ちしています。

これからも学園祭の恒例の場として細く長く続けて行けるよう頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。また今年からこの時期に合わせて、常任幹事会を行うことを議決しました。来場の際にもボランティアに参加してください。

学園生徒会には、例年通り心ばかりのお金を寄付させていただいております。また、去年から始まり好評の中学入試説明会では、100件以上の問い合わせがあるため、事務局の方、説明にあられる先生方、大忙しの様子で2日間があつという間、実はわれわれスタッフも学園祭を見てないのが本音です。これは学生時代の実行委員の時と同じで、年がたつても懐かしく思います。先生方、事務局の方々、お疲れ様です。本当にご苦労さまでした。来年もご一緒させてください。

〔同窓会と学園のアウトライン〕

- 同窓生の皆さん、現在の同窓会員が何人位いるかご存知ですか？ 答えは13,298人です。
- その内、何らかの形で SEASIDE がお手元に届いている方々

は8,066人（把握率68%）です。

- 創立70周年は、2,003年です。
- 今回の同窓会が企画している同窓生名簿は、卒業生名簿ではありません。途中で移動された方々も、なんとか追跡し、加わってもらおうと努力しています。
- 名簿は送料を含め4,500円までとし、一人でも多くの皆様に見ていただくのが目的で、差額分は同窓会が負担をいたします。（原価 予想7000円）ボランティア活動にて利益は考えておりません。発行部数は3,000～4,000部を予定に。2001年から会報発行時に振り込み用紙などを同封して、受け付けを開始する予定です。
- これまでに2回名簿を発行し、前は学園との協力で卒業生名簿を1992年に発行しました。最初は1,974年です。
- 学園には1,918人（2,000年5月）の生徒が在学中で、園長は水野公宣先生です。1995年から同窓会御担当の先生は、小学校校長で、現在のご担当は滝川一輝先生です。（2,000年～）
- 学園祭は毎年10月第1の土・日が予定され、OBルームは写真展を行っています。事務局には同窓生の北村さん（現在は山田さん）に御担当いただいております、いつもお世話になっております。
- 事務長さんは、南條隆夫さん。1999年からです。
- 先生方は147名おられます。
- 名簿の件で皆様に電話をおかけしているのは、長松・庄司・平木さんの3人のOG女性です。

#### ☞ 学園に新しい中高校舎が建設されます

私達OB・OGにとって学園の現校舎はとても懐かしく思い出のあるものです。しかしその校舎もこれまで数回の立て替え補修が行われてきたもので、すでに20年以上経っているものがほとんどです。私達が卒業した頃から考えれば、老朽化が激しく進み、いよいよその限度を迎えて来たようです。

学園では、数年前から検討を始め、今回、中高の校舎が3年がかりで新築される事になりました。すでに公的な許認可はすべて得ており、早ければ2001年早々にも着工との事です。

私達同窓生にとっては、新しくなる事が必ずしも良い事ばかりではありません。昔懐かしい思い出となっている私達の学校が、OBルームの写真展の1枚となってしまうかもしれないのですから…。

しかし、現役及び将来の生徒諸君達に良い環境を提供できるという事には同窓会も大賛成です。この点では同窓生の皆様もご異存ないことと思います。

この件に関しては、水野園長からも「物心に亘る協力」の要請のコメント（下記掲載）を頂きましたが、同窓会でもそれに先立ち、学園に協力していく事を議決しており、先に報告した名簿事業を控えてはおりますが、少しでも後輩生徒諸君の力になればと考えております。

また、いずれ学園から皆様にも正式なお知らせが届くものと思われませんが、協力できる同窓生の皆様はよろしくお願ひ申し上げます。

同窓会会長 田端

〔水野園長からの新校舎建設と協力要請コメント〕

いよいよ新しい世紀を迎え、20世紀が記憶になろうとしています。

同窓会の皆さんにとっての過ぎ去った記憶は、学園の校舎・キャンパスにあります。その意味では学園の校舎・キャンパスは、懐かしい思い出の詰まったモニュメントです。いつ学園に行っても、恩師がおられるというわけにはいきませんから、校舎やキャンパスはそのままがいいと思われるのは当然の事です。

とはいっても、みなさんから子弟をあずかる学校として、学園の校舎・キャンパスを見た場合、見方は変わってくると思います。古くなってもそれなりの風合いが出て、伝統の重みを感じる校舎とか、生徒数の規模に応じたスペースが確保されているとか、時代に応じた設備が備わっているとか、いろいろな点では評価が異なってきます。

学園の長期的な展望と老朽化等の理由から、中学・高等学校の校舎の建て替えをすることになりました。

学園にとっては、数十年に一度の大イベントですから、基本的な計画については平成3年から11年まで、時間を掛けて検討してきました。その結果、資金的にはバブル期を外したことが幸いしたといえます。これまでに法的な問題はすべて認可されたのですが、近隣の方々の理解を得るという点で学園の誠意が

充分通じず、未だ異論を残しています。

この点については、新しい校舎が生徒諸君を育み、その有り様が地域になじみ、生徒諸君の姿が地域になじむように、時間をかけて御理解を得ていくつもりです。

21世紀に向けて基盤を新たにして、皆さんの記憶の中の学園が、より輝かしいものとなるよう祈念しております。どうか、今後とも、学園に学ぶ後輩のために、物心両面でお力添えいただけるようお願い申し上げます。

湘南学園 水野

## ☞ ホームページ開設の検討

同窓会でも遅ればせながら、ホームページの開設を検討しています。現在常任幹事でもある前田忠厚（H32回・アトリエ前田）君に素案の検討を依頼し、進めております。

学園ホームページの一部に同窓会ホームページをとという方針で検討を進めて、2001年春には開設したいと考えております。開設の際はどうかアクセスしてみてください。

## 同窓生の活躍

### ☞ “木下・重ペア” オリンピック連続出場

前回のオリンピックで見事銀メダルを獲得された女子ヨット470級の木下・重ペアの木下さん（H34回）が、わが同窓生である事を4年前の会報でお知らせ致しましたが、今回のシドニーオリンピックでも、8位入賞というすばらしい成績を残されました。

まず、オリンピックに連続出場できるだけでも大変な事なのに、シドニーでも入賞された事は、木下さん、重さんの並々ならぬ努力と、関係者の皆さんの多大な協力があったものと思います。

水野園長が木下・重ペアの祝賀会に参加された際に、同窓会からも心ばかりのお金を支援させて頂きました。

木下さんには、3大会出場を目指される事を、我々同窓生として期待したいと思います。

尚、水野園長のコメントを下記に掲載します。

### 〔シドニーオリンピックヨット470級8位入賞祝賀会〕

祝賀会は、佐賀県立ヨットハーバーで行われました。4年前にも訪ねたことのある施設です。県立であるヨットハーバーの由来を尋ねました。国体ヨット部門で7年連続優勝を果たし、ようやく、県が設置した施設だそうです。今回の祝賀会も、富山国体でのヨット部門総合優勝の祝賀会をかねていました。

会が始まる前、木下さんと話した際、佐賀での10年近い生活のことを尋ねました。「皆さんにとってもよくしていただいて、寂しいと思ったことはありません。」とっておられました。

祝賀会での木下さんのスピーチは、「皆さんのおかげでオリンピックに出場でき、競技できたことを深く感謝しています。」という趣旨でしたが、実感のこもった言葉でした。

というのは、遠征費用がかさむ要因は、まずは、ヨットの搬送費用、それ以上にかかるのが、選手とスタッフの滞在費用だといえます。スタッフは、メンタルカウンセラーの他に、現地の気象情報等の調査スタッフが多数で、毎日定時に、会場となる海域の潮流、風向、風速などを測定して、コンディションを

把握し、予測するそうで、このスタッフによる情報は、大会当局の発表する情報より遙かに正確であったといえます。

4年後のアテネについて、コーチは「過去3回オリンピックに参加して、メダルへのアプローチに何が必要であるかが分かった。」とっておられました。

国体に出場した選手、そして、このヨットハーバーで練習している次の世代の顔ぶれを見て頼もしい思いをしましたが、ふと、男子にも、女子にも木下さんほどの身長の人がないのに気がつきました。

祝宴では、木下さんのパートナーである重さんともお話しできました。4年後のことを伺ったら、「アテネは分からない。」とっておられました。木下さんには、いい人が出来ましたか、お母さんも気を問われるでしょう、と聞きましたら、「そうなんですけど、そんな暇はないんです。」と答えがありました。ひそかに、アテネを期待しました。

水野

### 《湘南学園同窓会 会計報告》

平成11年度の会計報告は次の通りです。  
よろしくご了承頂き、今後とも宜しくお願いいたします。

◆平成11年度（平成11年4月1日～平成12年3月31日）収支

収入の部		支出の部		備 考
科 目		科 目		
前期繰越	13,175,005			
入会金	1,185,000	会報印刷	1,023,833	
年会費	1,529,000	通信費	799,022	
受取利息	5,015	交際費	17,208	
		交際費	25,720	学園祭参加費
		寄付	50,000	生徒会へ学園祭援助
		事務用品	1,743	
収入小計	2,719,015	支出小計	1,917,526	
		次期繰越	13,976,494	
収入合計	15,894,020	支出合計	15,894,020	

注記：1. 平成12年3月度の新会員は（高180人、他30人）210人でした。

2. 年会費の納付は750口でした。

### ◆資産明細（年度末比較）

	平成10年度	平成11年度	増 減
普通預金			
横浜銀行	10,286,732	9,682,491	-604,241
郵便局	84,852	4,945	-79,907
定期預金			
横浜銀行	0	0	0
郵便局	1,305,000	1,305,000	0
郵 政 省	1,503,250	2,979,950	1,476,700
小 口 現 金	4,829	4,108	8,937
合 計	13,175,005	13,976,494	801,489

## ☞ “五窓会” 開催



五窓会は小・昭26、中・昭29、高・昭32卒の合同の同窓会で、毎年必ず6月第1土曜日に開催しています。

今年は2000年6月3日、横浜港を眼下に見下ろすロイヤルパークホテル70階のスカイラウンジで樋口、今井両先生をお招きして和やかに開かれました。27人の出席者の前でこの会に寄せられた樋口先生の詩が読み上げられ、深い感動が広がりました。私達五窓会だけのものにしておくにはあまりにももったいないと思い、学園の同窓生皆さん、特にB地区時代を共に過ごした方々と共有したくて、ここに発表させていただきます。

### “だれも信じないかも知れないけど…”

だれも信じないかも知れないけど

そして随分むかしの事だけど

私は天国に住んでいた

天国でも私は貧しかった

だから小さなわとり小屋でくらしていた

そして毎日が幸せだった

だれも信じないかも知れないけど

そして古い古い話だけど

天国の学校はけっして立派ではなかった

廊下はあっちこっち継ぎだらけで

窓にはいつも大きな穴があいていた

先生もときどき窓から出はりしていた

おまけに「おばけ屋敷」まであって

毎日、毎日が楽しかった

だれも信じないかも知れないけど

みんなと行った自転車旅行や修学旅行には

おかしい話がいっぱいあった

そしてその思い出話を語るとき

今井先生と私はいつも

涙が出るほど笑いこけてしまうのだ

遠い遠い昔のあの頃の天使たちは

今どーしているかなー

「どこか遠くで

“おれたちが天使？ 信じられねー”

2000年度幹事 茂木 信佑・森 知・山縣 隆子（内藤）

“五窓会”の名称は小学校第5回卒業（昭和26年）からつけられた。この会は、中学卒（昭和29年）高校卒（昭和32年）および小・中・高の途中入・退学を含め、卒業して以来殆ど毎年開催している。開催日は毎年6月第1週土曜日と決まっている。幹事は交代制で男性2名、女性1名。今まで流れたことは無い。

樋口・今井両恩師の元気で若々しいお姿は“人生かくあるべし”とのお手本であり、我々の目標だ。

いくつかのクラス会の中で、“五窓会”が最も気軽に楽しい。

何ととっても、鶴沼を中心とした湘南の地に育ち、自由闊達な校風のもと、学園生活を共にした熱き思いがあるからだ。

すでに還暦を過ぎ、リタイア組も増えつつあるが、来年6月も元気で皆んなに会えることを願っている。

因みにここ数年の“五窓会”会場は次のとおり。

95年「桃林」横浜、96年「湘南ホテル」、97年「ひよく」藤沢、98年「藤沢グランドホテル」、99年「にはや」藤沢。

石川樹一さんより。（一部割愛させていただきます。）

## ☞ 昭和58年度卒E組同窓会報告

8月5日、クラスメートの柳町さんが藤沢で経営するJazz Bar『ブルーガ』にて、理数科の同窓会を開きました。

20名を越える級友が集まりましたが、卒業後、初めて顔を合わせた友も多く、15時から午前3時までの長時間、話はつきませんでした。来年は、担任の福森先生を訪ねる企画などと思っています。会費5000円。（荒川香菊）

荒川香菊さん、出口丈さん幹事役ありがとうございました。連絡がとれなかった方々もいらっしやいましたが、両氏のご尽力で最新住所録も出来つつあります。

住所変更等の折は、同窓会事務局または前田までご連絡下さい。（前田忠厚）

